

北ア 爺ヶ岳東尾根 2015年12月19～20日

メンバー；L谷内、倉澤、佐藤

下部は雪少なくブッシュ混じりでうっとおしかったが上部はそこそこの積雪あり。入山したのが我々と名古屋山岳会の4人組と2パーティーのみで新雪を交代でラッセルしながら自分たちだけでルートを切り開いていくという冬山の原点を味わえた有意義な雪山訓練山行となりました。今回は頂上直下2550m地点で終了としましたが、いつの日にか山頂をきわめれるように頑張ってくれることを期待しています。

12/19 小雪～晴れ

AM6時茅野発-7:30鹿島山荘前駐車。ほぼ同時に名古屋山岳会の4人組も到着しあいさつを交わす。8時出発。いきなりの急登帯はほとんど雪ついておらずヤブ斜面が滑りやすく途中からアイゼン登行に切り替え8:48支尾根上に出る。ここから名古屋Pと交互になりながら高度をかせぎ11:40JP着。その先もヤブ混じりのもぐるラッセルを頑張り13:30P3着。天候が予報より早く回復してくれたようで鹿島槍、爺が立派な姿をみせてくれお互いに写真を撮り合う。名古屋Pはもう少し先へ進むとのことであつたが我々は風の避けれる眺めの良い特等席にテンバを設けゆっくりとテント生活のイロハを楽しむ。天気図上明日は高気圧に覆われ好天期待できそうだが問題は雪の状況で、古いザラメ状の硬い雪の上に新雪がのつかった弱層を形成しており雪崩に必要な状態で中央峰右手の沢筋に大きな板状雪崩の跡も遠望された。

12/20 風弱く快晴でグル～と四方が見渡せる絶好の登山日和

AM4時起床。月夜で明るく満天の星空であつたがそれ程冷え込まず。6時ヘッドラの灯りのもと出発。20分くらいで名古屋Pのテントありトレースのお礼を述べ先行す。7:05P2着。この先のナイフリッジがどんな状況かポイントの一つであつたが、ゆっくりとルートを踏み固め通過可能でロープを出すことなくクリア。次にP1への急登帯の雪崩が心配であつたが積雪少なめでブッシュ出てくれており股くらいまでの深いラッセルではあつたが忍の一字で登り切り8:25P1着。ここで針ノ木、蓮華にご対面。この先広大な雪原状斜面でクラストを期待していたのだが相変わらずのボコボコ潜り～深い新雪のラッセルが続く。AM9:45メンバーの体力、疲労度、経験、下山に要する時間、リスク等を総合的に判断し山頂直下の標高2550m地点で本日の行動を終了とし小休止の後10時下山開始。ナイフリッジも慎重に下降し11:22テンバ帰着。撤収後12時下

山。下部は笹ヤブの上に雪がのっかっており滑りやすくてしんどし。最後の急下降帯はアイゼン装着下で下るがスリップに神経を使う実にはいやらしい下りで15時駐車場帰着しホッと一安心。あとは薬師の湯へと一目散となりました。